春秋稿　九編　四季二冊

一 四季之内一句入　　金五拾疋　集冊呈

一 四季ニて四句入　　紙十枚　右同断

何れも一句毎ニ所望之清書いたし遣ス

御入銀之分ハ集冊呈上之上ニ而御請取可被下候

一 歌仙一巻入　　金弐百五拾疋

一 同 半折入　　同 百五十疋

右金之分ハ清録料ニ添へ御贈り可被下候

毎歳子春より撰入五月晦日全集切ニ候

八月仲秋ニ至り集冊呈上致し候　尤四季の

風景深山の出所ニ於て其所清画師ニ頼ミ

清縁ニ写入候志るし可申候

嘉永三庚戌夏

東都　神田小柳町三丁目新道

春秋庵撰す